

最近5年間の研究状況を網羅した研究文献目録

日本文学研究文献要覧

現代日本文学 2020～2024

梅澤 亜由美・岩谷 泰之 監修 B5・810頁

定価47,300円（本体43,000円＋税10%） ISBN978-4-8169-3060-7 2025年7月刊行

基礎資料から最新の作家研究まで 主題・作家別に一覧

- 国内で発表された現代日本文学に関する研究文献を一覧できる文献目録です。『日本文学研究文献要覧 現代日本文学2015～2019』（2020.7刊）の最新継続版。
- 2020～2024年の5年間に図書・雑誌・紀要類に発表された研究書・論文・書誌など21,998点の文献情報を収録。詳細な分類項目により、各ジャンルごとに最新の研究動向を把握することができ、タイトルに作家名がない文献も調べることが可能です。
- 「現代日本文学研究案内」「事項名索引」「作品名索引」「著者名索引」「収録誌名一覧」付き。

■ シリーズ既刊 ■

日本文学研究文献要覧 現代日本文学2015～2019

勝又 浩・梅澤 亜由美 監修 B5・830頁 定価43,780円（本体39,800円＋税10%）
ISBN 978-4-8169-2837-6 2020.7刊

日本文学研究文献要覧 現代日本文学2010～2014

勝又 浩・梅澤 亜由美 監修 B5・770頁 定価40,700円（本体37,000円＋税10%）
ISBN 978-4-8169-2548-1 2015.7刊



【監修者プロフィール】

梅澤 亜由美 うめざわ・あゆみ

法政大学大学院博士課程修了。大正大学教授。
著書に、『増補改訂 私小説の技法 「私」語りの百年史』（2017年12月 勉誠出版）。共編著書に『「私」から考える文学史 私小説という視座』（2018年10月 勉誠出版）などがある。

岩谷 泰之 いわや・やすゆき

大正大学大学院博士課程修了。大正大学助教。
森鷗外を中心とした近現代文学、特に文学作品と宗教の関係を研究対象とする。『仏教由来の日常語事典』（2025年2月 丸善出版）に項目執筆として参加。

内容見本は裏面をご覧ください

202506

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注文書	日本文学研究文献要覧 現代日本文学 2020～2024 定価47,300円（本体43,000円＋税10%） SBN978-4-8169-3060-7	冊	取扱書店  9784816930607
-----	---	---	--

テーマ別研究

現代日本文学

詳細な分類項目により
各ジャンルごとに
研究文献を一覧できる

病と文学

〔図 書〕

- 石井正己 感染症文学論序説—文豪たちはいかに書いたか 河出書房新社 2021.5 194p 18cm 1720円
上田修, 上村忠実, 大島一利, 須川渡, 文屋敬, 松本健, 道行千枝 病 ミッションプレス 2021.3 218p 19cm
800円 (テーマ・シンキング叢書11)
川崎正明 ハンセン病療養所に生きる人びとの「いのちの証」 好善社 2024.6 87p 19cm (好善社ブック
レット 25)
内藤真奈 エイズ文学における病人の表象 <パンデミックの言説 白百合女子大学言語・文学研究センター, 岩政伸治責
任編集 弘学社 2022.12 21cm 1200円 (アウリオン叢書 21)>
永江朗編, 芥川龍之介, 秋田雨雀, 与謝野晶子, 斎藤茂吉, 永井荷風, 志賀直哉, 谷崎潤一郎, 菊池寛, 宮本百合子, 佐々
木邦, 岸田國士著 文豪と感染症—100年前のスペイン風邪はどう書かれたのか 朝日新聞出版 2021.8 266p
15cm 680円 (朝日文庫 な54-1)
野網摩利子 近代小説と感染症 <日本古典と感染症 ロバート キャンベル編著 KADOKAWA 2021.3 15cm
920円 (角川ソフィア文庫 C121-1)>
日比嘉高 パンデミック小説の地図を書く<疫病と日本文学 日比嘉高編 三弥井書店 2021.7 19cm 2500円>
白百合女子大学言語・文学研究センター, 岩政伸治責任編集 パンデミックの言説 弘学社 2022.12 202p 21cm
1200円 (アウリオン叢書21)
松下美高 感染症を題材とした小説の世界—新型コロナウイルス感染症を中心として 幻冬舎メディアコンサル
ティング 2023.12 203p 19cm 1500円
向井嘉之 野辺からの告発—イタイタイ病と文学 イタイタイ病を語り継ぐ会 2022.3 227p 21cm
1700円
山下多恵子 さびしさを紡ぐ—ハンセン病を生きるということ 未知谷 2024.8 247p 20cm 2700円

〔雑 誌〕

- 荒井裕樹 「谷間」を襲う感染症：文学が描いた医療崩壊と安楽死（特集文学から読み解く感染症：身体・分断・
統治）：社会文学（55）〔2022〕p45～55
浦田義和 沖縄のハンセン病文学（村山龍先生追悼特別号）：日本文学誌要（103）〔2021.3〕p53～67
北川扶生子 病むこと—看ることの意味—戦中戦後における結核をめぐって（特集〈感染〉と文学の百年）：昭和文
学研究

木村哲也 分断を越
清松大 相剋する

清松大 121
〈癩文学
く感染症

クリス, ローウィー ミック：
疫禍のも

鴻巣友季子 スペイン
後藤隆基 ：東京人

小峯和明 病の発見
5〕p15～

斎藤真理子 本の葉に
斎藤美奈子 世の中

酒井敏 森鷗外・
58 (2)

星名宏修 救癩戦線
p169～1

松岡弘之 森田竹次
〔2024.1

〔書 誌〕

イタイタイ病 参考

作家・作品論

谷川 俊太郎

谷川 俊太郎

〔図 書〕

- ウィリアム・I・エリオット著, 西原克政訳, 谷川俊太郎詩, ウィリアム・I・エリオット, 川村和夫, 西原克政英訳
谷川俊太郎の詩を味わう ナナロク社 2021.9 114p 19cm 1700円
谷川俊太郎, 伊藤比呂美 ちらら星のかなた—対談集 中央公論新社 2024.9 249p 20cm 1800円
谷川俊太郎語り手・詩, 尾崎真理子聞き手・文 詩人なんて呼ばれて 新潮社 2024.8 605p 16cm 950円 (新
潮文庫 た—60-21)
中村三春 ひらがなの天使—谷川俊太郎の現代詩 七月社 2023.2 269p 20cm 2700円
山田兼士 谷川俊太郎全《詩集》を読む 思潮社 2023.12 205p 19cm 2200円

〔雑 誌〕

- 伊藤比呂美, 尾崎真理子, 高橋源一郎, マーサ, ナカムラ, 四元康祐 今更、谷川俊太郎：谷川作品をめぐるシンポ
ジウム（総特集92年目の谷川俊太郎）：ユリイカ56 (3) 通号817 (臨増) 〔2024.3〕p125～143
岩倉文也 谷川俊太郎だけが詩人なのであって、他に詩人なんていないのかもしれない（総特集 92年目の谷川
俊太郎）：ユリイカ 56 (3) 〔2024.3〕p163～167
エリス俊子 宇宙と地球と私、そして：谷川俊太郎の静かな絶望について（総特集 92年目の谷川俊太郎）：ユリ
イカ 56 (3) 〔2024.3〕p400～408
奥山紗英 「詩」を書くよりも（総特集 92年目の谷川俊太郎）：ユリイカ 56 (3) 〔2024.3〕p144～148p144

- 高山花子 とめどない実験（総特集 92年目の谷川俊太郎）：ユリイカ 56 (3) 〔2024.3〕p371～381
高山宏 認識絵本の薔薇十字ポイエーシス：谷川俊太郎讀（総特集 92年目の谷川俊太郎）：ユリイカ 56 (3) 〔2024.3〕p417
～427
久谷雉 谷川俊太郎の余白に（総特集 92年目の谷川俊太郎）：ユリイカ 56 (3) 〔2024.3〕p183～189
原田郁子 んばばんばぼうんうん：「いまここ」をめぐる旅（総特集 92年目の谷川俊太郎）：ユリイカ 56 (3)
〔2024.3〕p73～77
宮本和歌子 谷川俊太郎『なおみ』論（山崎ゆみ先生追悼号）：女子大國文（171）〔2022.9〕p177～195
吉田恵理 谷川俊太郎：昭和文学研究 89 〔2024.9〕p180～183

〔書 誌〕

- 山田兼士 谷川俊太郎 全詩集 <詩活の死活—この時代に詩を語るとのこと 谷川俊太郎ほか 澤標 2020.11>
p355～368
山田兼士 谷川俊太郎全《詩集》を読む 思潮社 2023.12 205p
谷川俊太郎 年譜 <さよならは仮のことば—谷川俊太郎詩集 谷川俊太郎 新潮社 2021.7> p241～256

〔書 評〕

- 阿毛久芳 書評 中村三春著『ひらがなの天使：谷川俊太郎の現代詩』：昭和文学研究 88 〔2024.3〕p268～271
瀬崎圭二 書評 中村三春著『ひらがなの天使：谷川俊太郎の現代詩』：日本近代文学 109 〔2023.11〕p232～235
田口麻奈 書評 中村三春著『ひらがなの天使 谷川俊太郎の現代詩』：比較文学 66 〔2023〕p143～146